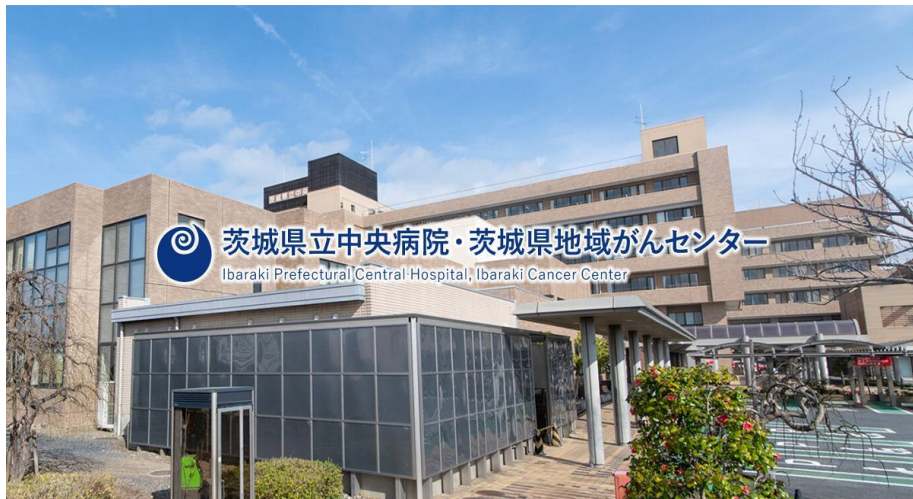
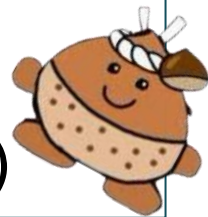


暮らしを支える地域医療の町

—友部—



3班(足立、菊池・香、君山、小松崎、若林)



①友部の基本情報について

- ・旧市町村別人口: 35,320人 (男性17,503:女性17,817) 2026.6.30更新

→男女比は約1:1

- ・世帯数16,501

→他の地区と比べて多い傾向あり(旧笠間10,501、旧岩間6,446)

→病院などのインフラ需要が高まる

・ 地域の特徴

・ 身近な医療がある

- ① 中核病院を担う茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンターがある
 - ② 友部駅や中央病院の周りには、クリニックや歯科医院、介護施設といった地域で連携された医療があることが見て取れる
- 地域住民に切れ目のない医療を提供できる体制が整えられている



■ 地域の特徴

■ アクセスの良さ

① 友部駅：JR常磐線と水戸線が交わる

② 常磐自動車道・北関東自動車道：水戸市やつくば市、東京方面へなど多方面からアクセスしやすい

→ 道路と鉄道の両方で交通の便利性が高く、救急医療や他の医療機関との連携を円滑にし、地域医療を支える重要な要素となっている

常磐自動車道について



北関東自動車道について



・ 取り組み

《まちづくりプロジェクト》 R7～11

主に...

- ・ まちづくりの担い手育成、確保=空き店舗などを利用した創業人材育成
- ・ ◎**高齢者見守り体制の整備**=身寄りのない高齢者の相談支援体制の充実や、災害や緊急時に支援を必要な方の情報を共有するシステムの再構築、『新しい認知症観』に基づく施策の推進などによって、高齢者を多方面から見守り、住み慣れた地域で安心して日常生活を継続できる環境を整える など...



2



 : 医療施設

 :介護施設

:保健・福祉施設

スポット

保存済み

投稿

Google Maps

©2026 Google

③地域の医療資源



病院



友部駅



クリニック・診療所



歯科医院



薬局

↑ これらの施設が南口方面を中心に、分布している。

「専門的な医療を担う医療機関」と
「住民の身近な医療を担う医療機関」
が地域に存在している。

また、友部駅周辺の徒歩・車で移動しやすい
範囲に集積している。



③地域の医療資源

基幹総合病院から精神科専門病院、公立の地域密着型病院、民間の有床病院までが友部駅付近のコンパクトなエリアに集まっている。



「包括的」な医療連携がスムーズに行える体制

- ・ 身体・精神の両面を一体的に支える医療体制
 - ・ 急性期から回復期まで切れ目なくつながる医療体制
- などが期待できる環境が整っている。

友部駅南口方面を中心に、内科、小児科、整形外科、眼科などの
個人クリニックが充実している。

日常的な**「かかりつけ医」**の選択肢が豊富。

④ 介護・生活支援資源



茨城県立中央病院などの医療機関と介護施設が連携している

病院付近に介護施設が多い・医療依存度が高い方でも入所できる
多い

施設が

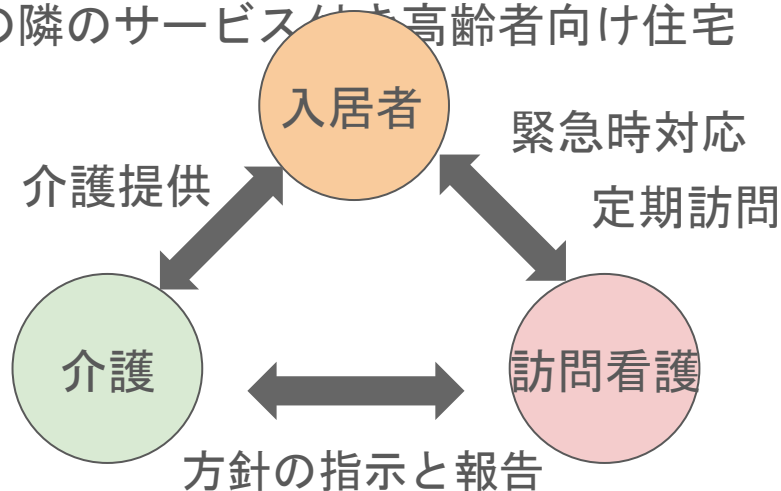
④ 介護・生活支援資源



茨城県立中央病院などの医療機関と介護施設が連携している

病院付近に介護施設が多い・医療依存度が高い方でも入所できる 施設が多い

例: 県立中央病院の隣のサービス付き高齢者向け住宅



月に数回、医師がサ高住に訪問して診察する。

訪問看護、訪問介護、デイサービスが併設されているところも！

その他



- ・ 訪問看護ステーション(要支援や要介護を含む)
 - ・ リハビリ特化型デイサービス
 - ・ 自立支援型デイサービス
 - ・ 看護小規模多機能型居宅介護
 - ・ 特別養護老人ホーム(要介護3～)
- 要介護1～5
- などが友部駅南口～中央病院にかけて集中



**旧友部地区の介護施設・生活支援資源は病院を中心に、医療依存度の高い患者を含む
様々な介護レベルの方を受け入れる環境が整っている**

⑤保健・福祉施設資源

- ・ 地域医療センターかさま
- ・ 地域福祉センターともべ
- ・ 就労支援事業所:2箇所
- ・ 介護、老人ホーム:5箇所
- ・ その他の支援活動:5箇所

計14箇所

【旧友部地区 保健・福祉施設（全14箇所）】※介護・高齢者支援を除く

行政・保健拠点（3箇所）

- ― 笠間市役所 本庁舎（中央3-1-1）
- ― 地域福祉センターともべ/こども育成支援センター/たけのこ（美原3-2-11）
- ― 地域医療センターかさま 行政棟（南友部1966-1）

専門医療・職能支援機関（2箇所）

- ― 茨城県立こころの医療センター（旭町1414）
- ― 茨城障害者職業センター（鯉淵6261-3）

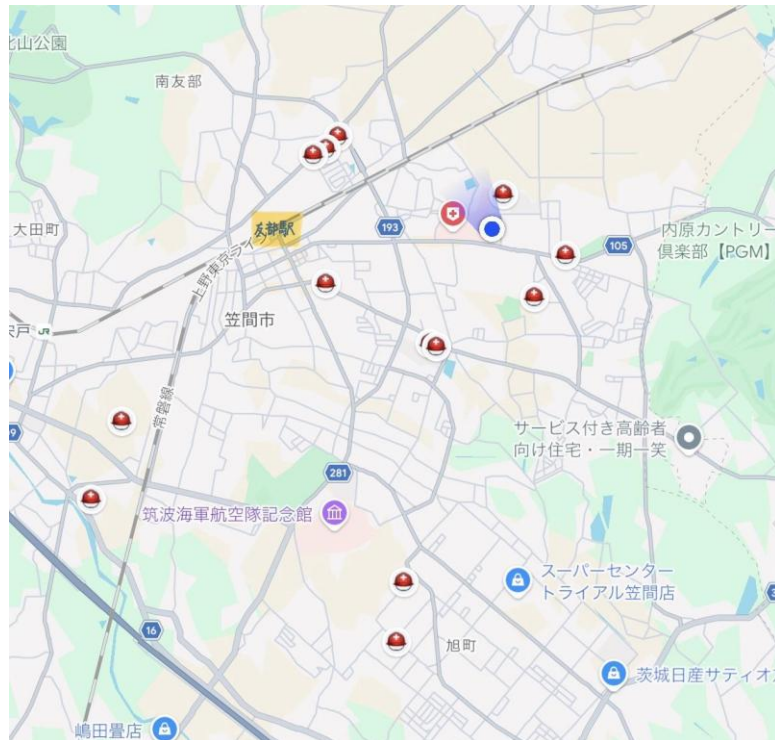
障害者就労・生活支援事業所（3箇所）

- ― 株式会社道進 来々環（南友部1966-38）
- ― 株式会社LAXIS Level2（旭町371-3）
- ― デイサービスくつろぎ笠間【生活介護】（鯉淵6528-76）

障害児通所・発達支援事業所（6箇所）

- ― きつずプラス 友部教室（平町464-1）
- ― きつずプラス 友部大田町教室（大田町1088-6）
- ― がくどうともべ（大田町1088-6）
- ― アクティブハル（八雲2-6-15）
- ― クオリティ・オブ・ライフ 友部支援教室（八雲1-2-45）
- ― VIF+友部（旭町456-1）

Geminiより



保健・福祉施設: 

⑤友部地区の保健・福祉施設の特

徴

- ・ 友部駅を中心に南口側に扇状にまばらに施設が散らばっている
- ・ 北口側→**少ない**

・ 民間事業所の多さ

JR友部駅周辺の交通利便性、人口密度 → **著しく高い**
他の地区よりも利便性が高いエリア



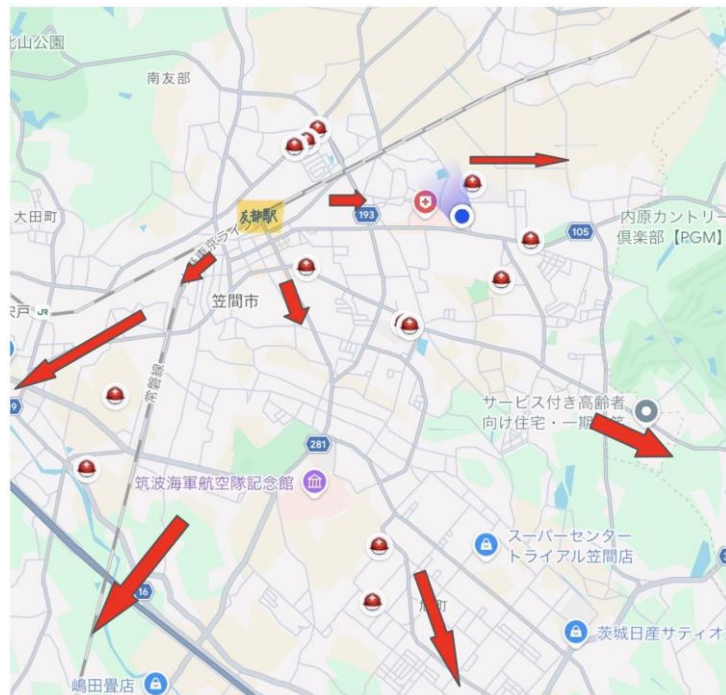
需要が高い

・ 市の公的窓口がすべて友部地区に集中している。

他の2地区→支所機能が中心。
手続きや総合相談の最終的な集約地としての役割を友部地区が担う。

・ 専門医療・リハビリ拠点の集積

保健・福祉施設との円滑な連携 **可**



保健・福祉施設: 



⑥まとめ

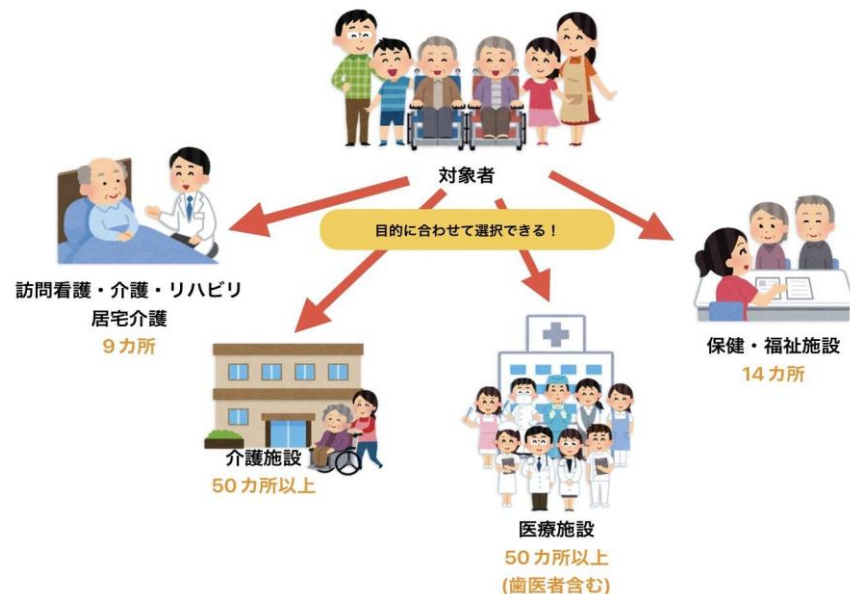
この地域の地域包括ケアシステムは・・・

対象者の健康レベルや発達段階に合ったサービスが
提供できるようになっている

友部駅近辺に医療、介護、保健・福祉施設が数多く
点在している

→対象者がそれぞれの目的に合わせて利用
するサービスを選択できる

地域包括支援センターや行政の相談窓口も多く、
健康予防～療養中の相談まで幅広い支援体制が
充実している。

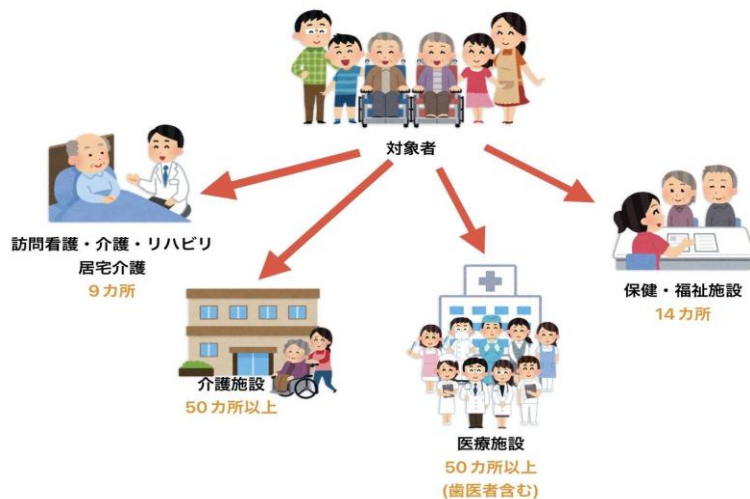


⑥まとめ

一言で言うと・・・



幅広い年代の対象者に対して、「その人」の生活に合ったサービスを
受けられる体制が整っている



強みと課題



〈強み〉

- ・ 友部駅周辺を中心として、医療施設、介護施設、保健・福祉施設が密集している

施設間での連携や多職種連携をスムーズに行えるため、より多くのニーズに応えられる。

- ・ 病院と併設している介護施設が多い

医療依存度が高い対象者の生活支援や、療養生活中の緊急な対応も行える。

- ・ 様々な年代の障害のある方に対しての支援が充実している



幼児の発達段階についての支援・相談や、成人してからの就労支援など、子供から大人までも滞りない支援ができる。

強みと課題

〈課題〉

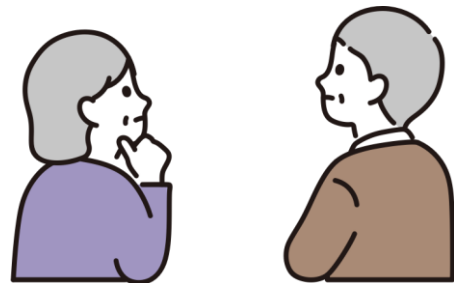
- ・ **施設の場所に偏りがあること**

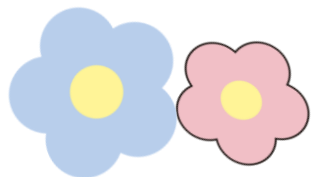
友部駅南口方面に集中→北口方面の施設が少ない(特に介護施設)

北口方面で生活している対象者が施設を利用する際に、移動が難しいと感じてしまう要因に繋がる

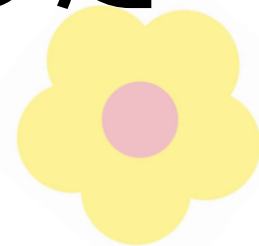
- ・ **施設数が多いことで自分に合ったサービスを受けられる施設はどれなのか迷ってしまう**

地域包括支援センターや、退院支援、市の相談窓口などをうまく活用するための情報発信や、医療従事者などの専門分野に従事する職員のサポートが必要となる





ご清聴ありがとうございました



《参考文献:笠間市HP,わが街辞典, 茨城県HP》